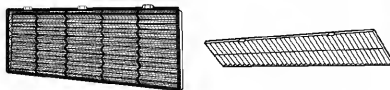
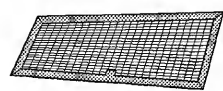
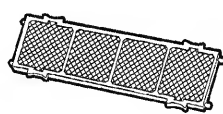

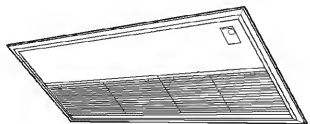
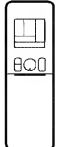


各部品のお手入れ

●お手入れの際の各部品の取外し・取付けは参照ページをご覧ください。

お手入れ部品	お手入れの目安	お手入れのしかた	ご注意
エアフィルター <div> <div> 半間幅 ▶20, 21ページ </div> <div> カセット ▶22ページ </div> </div> 	<div>約1ヵ月に一度</div>	<ul style="list-style-type: none"> ●水洗いするか、掃除機でホコリを吸い取る。 ●汚れのひどいときは、液体中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗い、日陰でよく乾かす。 	
<div> 一間幅 ▶21ページ </div> 	<div>約2週間に一度</div>		
光触媒空清フィルター <div> <div> 半間幅 ▶20, 23ページ </div> <div> カセット </div> </div> 	<div>約6ヵ月に一度</div> (3年程度を目安に交換)	<ul style="list-style-type: none"> ●掃除機でホコリを吸い取る。 ●汚れのひどいときは、ぬるま湯または水で10～15分つけ置き洗います。 	<ul style="list-style-type: none"> ●フィルターはこすり洗いしないでください。 ●つけ置きする場合は、フィルターを枠から出さないでください。 ●つけ置き後は、軽く水切りをし、日陰でよく乾かしてください。 ●水切りの際はフィルターをしぼらないでください。
吸込グリル <div> <div> 半間幅 ▶20, 21ページ </div> <div> 一間幅 ▶21ページ </div> </div> 	<div>都度</div>	<ul style="list-style-type: none"> ●やわらかい布でからぶきする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●40℃以上のお湯、ベンジン、ガソリン、シンナーなどの揮発性のもの、みがき粉、タワシなどのかたいものは使用しないでください。
<div> カセット ▶23ページ </div> 		<ul style="list-style-type: none"> ●水を含ませたやわらかい布で軽くふく。(液体中性洗剤以外は使用しないでください。) ●水洗いをした場合は、水気をよくふき取り、日陰で乾かす。 	
リモコン 	<div>都度</div>	<ul style="list-style-type: none"> ●やわらかい布でからぶきする。 	

お手入れをする

各部品の取外し・取付け

⚠ 注意

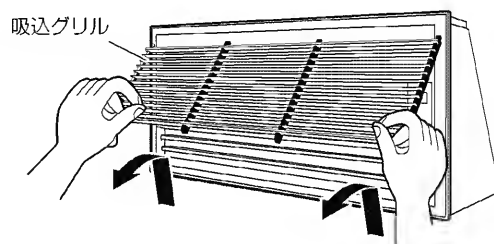
- お手入れの前には必ず運転を停止し、ブレーカーを切ってください。
- お手入れの際は丈夫で安定している台を使用し、足元に十分注意してください。
- 吸込グリルが落ちないように両手でしっかりと持ちながら作業してください。
- 吸込グリルは確実に取り付けられていることを確認してください。
- 室内ユニットの金属部に手を触れないでください。けがの原因になります。

半間幅押入れ下(上)設置の場合

フィルター部の取外し

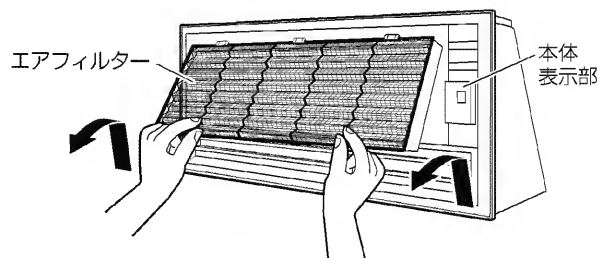
1 吸込グリルを開ける。

- 吸込グリルの両側をつまみます。
- 軽く持ち上げ、手前に引きます。



2 エアフィルターを取り外す。

- エアフィルターの両側ツマミを持ちます。
- 軽く持ち上げ、手前に引きます。

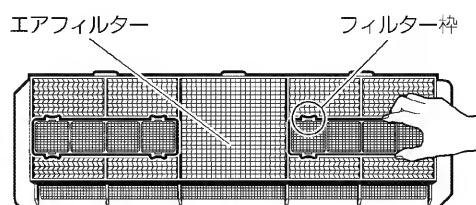


3 光触媒空清フィルター(別売品※)を取り外す。

- フィルター枠のツマミを持ち、固定部(4ヵ所)より外します。

※光触媒空清フィルターは別売品のため付属されていません。
ご入用の場合は別途お買い求めください。

Y24-1

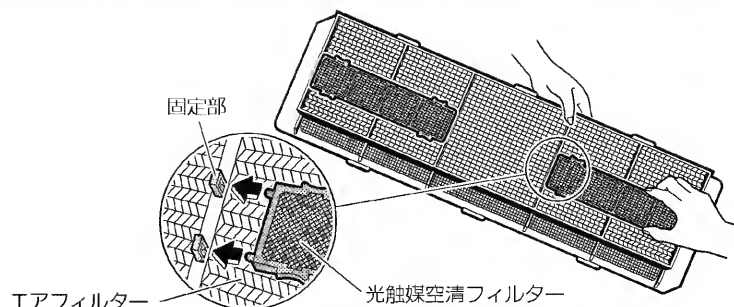


お知らせ

汚れたまま使用すると、冷房・暖房能力が低下し電気のムダ使いになります。

フィルター部の取付け

1 光触媒空清フィルターを取り付ける。

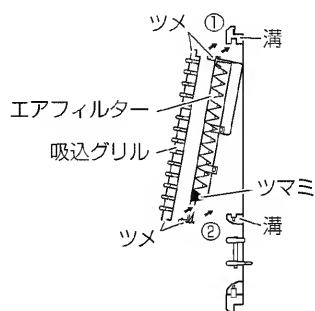


2 エアフィルターと吸込グリルを取り付ける。

- 吸込グリルのガイドにエアフィルターのくぼみ部をはめ込みます。
- ツメが「カチッ」と音がするまで押し込みます。

お願い

エアフィルターは、右側（本体表示部側）に寄せて入れてください。

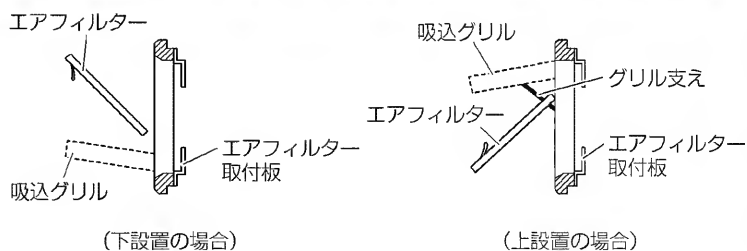


一間幅押入れ下(上)設置の場合

フィルター部の取外し

吸込グリルを開けて、エアフィルターを取り外す。

- 吸込グリルの両端を持ち、手前に引いて開けます。
- エアフィルターをつかみ、引き出します。



フィルター部の取付け

エアフィルターをもとどおり取り付けて、吸込グリルを閉じる。

- エアフィルターをエアフィルター取付板にはめ込みます。
- 吸込グリルを閉じます。

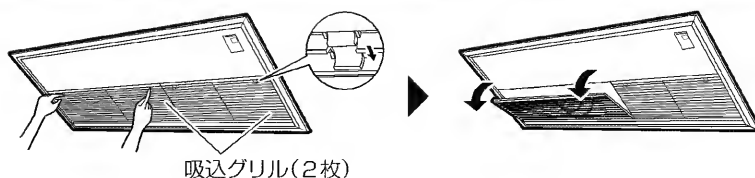
お手入れをする

天井埋込カセットビルトイン設置の場合

フィルター部の取外し

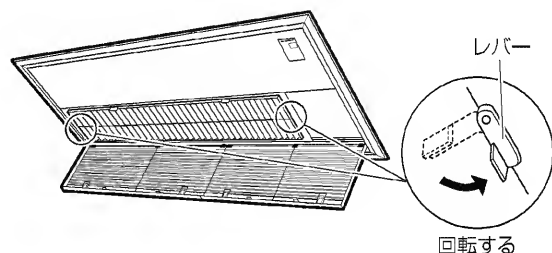
1 吸込グリルを開ける。

- 吸込グリルにあるツメを外し(1枚に2カ所)、吸込グリルをゆっくり開けます。



2 エアフィルターを取り外す。

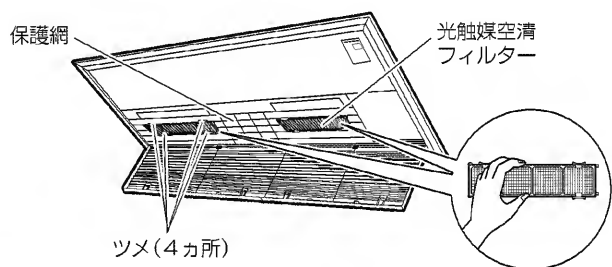
- 左右2カ所のレバーを回転させてエアフィルターを取り外します。
- エアフィルターの落下にご注意ください。



3 光触媒空清フィルター(別売品※)を取り外す。

- ツメ(4カ所)を保護網より取り外します。

※光触媒空清フィルターは別売品のため付属されていません。
ご入用の場合は別途お買い求めください。

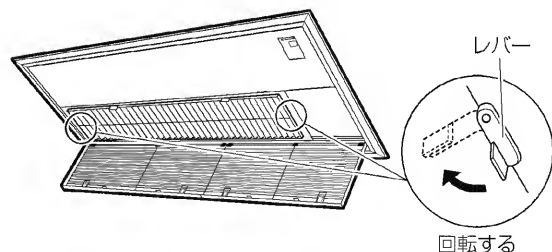


フィルター部の取付け

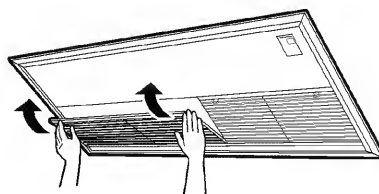
1 光触媒空清フィルター(別売品)を取り付ける。

2 エアフィルターを取り付ける。

- 左右2カ所のレバーを回転させてエアフィルターを取り付けます。
- エアフィルターの落下にご注意ください。



3 吸込グリルを閉じる。



故障かな？と思ったら

修理のご依頼やお問い合わせの前に、以下の内容を確認してください。

それでもまだ異常があるときは、**お買い上げの販売店またはダイキンお客様相談窓口**にご相談ください。

このようなときに		説明・調べるところ
運転しない	運転を停止してすぐに再運転したとき	<ul style="list-style-type: none"> ● エアコンを保護するためです。約3分間お待ちください。
	運転モードを変更したとき	
	除湿・冷房運転をしたとき	<ul style="list-style-type: none"> ● 「風量自動」にすると、室内ユニットの中にもったイヤなニオイを抑えてから、風を送り出す「ニオイないス」機能が働きます。約40秒お待ちください。
	運転しない 【運転ランプが消えている】	
運転が止まる	運転しない 【運転ランプが点滅】	<ul style="list-style-type: none"> ● ブレーカーまたはヒューズが切れていませんか？ ● 停電ではありませんか？ ● リモコンの電池は入っていますか？
	途中で運転が止まる 【運転ランプは点灯】	<ul style="list-style-type: none"> ● ブレーカーでいったん電源を切り、リモコンで再度運転してください。それでも運転ランプが点滅する場合は、エラーコードをご確認のうえ、お買い上げの販売店またはダイキンお客様ご相談窓口にご連絡ください。 (ブレーカーを切ってください。)
	途中で運転が止まる 【入タイマー運転中】	
運転が止まる	途中で運転が止まる 【運転ランプが点滅】	<ul style="list-style-type: none"> ● 電圧が急に大きく変動した場合、製品保護のため、停止することがあります。約3分後自動的に運転を再開します。 ● 屋外温度が低いときに暖房運転すると、室外熱交換器に霜が付き暖房能力が低下します。このようなとき、霜取り運転のため、暖房運転が停止し、風も止まります。この霜取り運転(3～10分間)が終わると自動的に暖房運転を再開します。
	途中で運転が止まる 【運転ランプが点滅】	<ul style="list-style-type: none"> ● 入タイマーを予約すると、その時刻にリモコンの設定温度となるように、最長約1時間前から運転を始めます。この間にリモコンを操作(「運転/停止」ボタンを除く)すると、停止するようになっています。リモコンで再度運転してください。
	途中で運転が止まる 【運転ランプが点滅】	<ul style="list-style-type: none"> ● 室内ユニットや室外ユニットの吸入口、吹出口をふさいでいませんか？運転を停止し、ブレーカーを切ってから障害物を取り除き、リモコンで再度運転してください。それでも運転ランプが点滅する場合は、エラーコードをご確認のうえ、お買い上げの販売店またはダイキンお客様ご相談窓口にご連絡ください。 (ブレーカーを切ってください。)

修理のご依頼やお問い合わせの前に
もう一度お調べください。



このようなときに

説明・調べるところ

風が出ない

故障ではありません

■暖房運転のとき

- エアコンを暖めています。1～4分間お待ちください。
- 屋外温度が低いときに暖房運転すると、室外熱交換器に霜が付き暖房能力が低下します。このようなとき、霜取り運転のため、暖房運転が停止し、風も止まります。
この霜取り運転(3～10分間)が終わると自動的に暖房運転を再開します。

■除湿・冷房運転のとき

- 「風量自動」設定で、除湿・冷房運転すると、室内ユニットにこもったニオイを抑える機能が働くため、すぐに風が出ません。
約40秒お待ちください。



冷えない・暖まらない

お調べください

●風量設定は適切ですか？

「しずか」「微」など弱い風量設定になっていませんか？
風量設定を上げてください。

●運転モードは適切ですか？

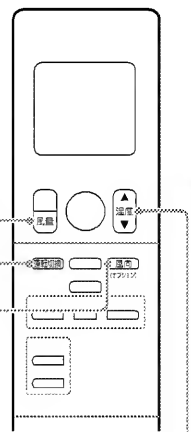
冷やしたいとき：除湿・冷房運転
暖めたいとき：暖房運転

●風向調節は適切ですか？

フラップ(上下風向調節羽根)と
ルーバー(左右風向調節羽根)を
設定したい方向に向けてください。

●設定温度は適切ですか？

冷やしたいとき：設定温度を下げる
暖めたいとき：設定温度を上げる



風が出ている

お調べください

- 室内ユニットの真下や横に家具が設置されていませんか？
- パワーセレクト「入」になっていませんか？
- エアフィルターが汚れていませんか？
- 室内ユニットや室外ユニットの吸入口、吹出口をふさいでいませんか？
- 窓や扉が開いていませんか？
- 換気扇が回っていませんか？



はじめに

基本の使いかた

便利な機能

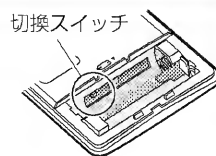
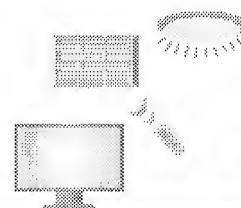
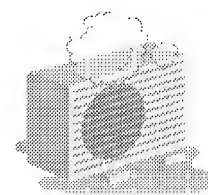
お手入れをする

困ったときは？

よくある質問

故障かな？と思ったら

このようなときに		説明・調べるところ
音がする	室外ユニットから「パキパキッ」という音	● 室外ユニットに付いた水が凍るときの音です。
	「ギュッ」、「ギギッ」という音	● 運転開始時および運転停止時にフラップの位置補正をするときの音です。
	運転中・停止中に「カチッ」という音	● 冷媒を制御する弁や、電気部品が作動する音です。
	水の流れるような音	● エアコン内部に冷媒が流れている音です。
	「ブシュー」という音	● エアコン内部の冷媒の流れが切り換わるときの音です。
	「ピシッ」という音	● 温度変化でエアコンがわずかに伸び縮みする音です。
	「ポコッポコッ」という音	● お部屋を閉めきって換気扇を使用したとき、エアコン内部から聞こえてくる音です。窓を開けるか、換気扇を止めると改善されます。 気になる場合は、ドレンホース用逆止弁(別売品)を取り付けてください。 詳しくは、お買い上げの販売店またはダイキンお客様ご相談窓口にご相談ください。
水・霧が出る	室外ユニットから水や湯気が出る	■ 暖房運転のとき <ul style="list-style-type: none"> ● 室外ユニットに付いた霜を取り除き、水や湯気として出すためです。 ■ 冷房運転などのとき <ul style="list-style-type: none"> ● 室外ユニットの冷えた配管に水滴が付き、滴下するためです。
	室内ユニットから霧が出る	● 冷房運転などのとき、お部屋の空気が冷風で冷やされて霧になるためです。
リモコン	リモコン信号を受信しない、感度が悪い	故障ではありません <ul style="list-style-type: none"> ● 電子式点灯方式の蛍光灯(インバーター蛍光灯など)や、液晶テレビ、プラズマテレビがあるお部屋では、信号を受け付けにくい場合があります。このようなときには、お買い上げの販売店にご相談ください。
	表示が薄い、出ない 表示が勝手に変わる	お調べください <ul style="list-style-type: none"> ● リモコンの切換スイッチの設定を変えていませんか。リモコンのふたと電池を取り外し、切換スイッチの設定を変えてください。それでもリモコン信号を受信しない場合は、お買い上げの販売店またはダイキンお客様ご相談窓口にご相談ください。
	他の電気機器が作動する	故障ではありません <ul style="list-style-type: none"> ● 乾電池が消耗しており誤作動を起こしている可能性があります。すべての電池を同時に新しい単4形アルカリ乾電池に交換してください。詳細については、“運転前の準備”をご参照ください。



修理のご依頼やお問い合わせの前に
もう一度お調べください。



このようなときに

説明・調べるところ

風がおもう	エアコンからイヤなニオイがする	故障ではありません	<ul style="list-style-type: none"> 除湿運転に変更した場合、一時的に湿度が上がることがあり、またニオイが発生する場合があります。 室内ユニットにしみついたお部屋のニオイなどを吹き出すためです。(室内ユニットの洗浄をおすすめします。お買い上げの販売店またはダイキンお客様ご相談窓口にご相談ください。)
	表示ランプ	故障ではありません	<ul style="list-style-type: none"> パワーセレクト「入」のときにリモコンの信号を受信すると、運転ランプとタイマーランプが点滅します。
表示ランプ	運転を開始すると、運転ランプがしばらく点滅して点灯する	お調べください	<ul style="list-style-type: none"> エラーコードをご確認のうえ、お買い上げの販売店またはダイキンお客様ご相談窓口にご連絡ください。(ブレーカーを切ってください。)
	表示ランプが暗い	お調べください	<ul style="list-style-type: none"> パワーセレクト「入」になっていませんか？「切」にしてください。
その他	運転停止中に室外ユニットのファンが回る	故障ではありません	■運転を停止した直後 <ul style="list-style-type: none"> 製品保護のため約1分間は室外ユニットのファンが回ります。
	除湿運転しているのに湿度が下がらない		<ul style="list-style-type: none"> お部屋の条件、在室人数、屋外温度によってはご希望の湿度にならない場合があります。温度調節を低めに設定してください。
	運転停止中に室内ユニットから風が出る		<ul style="list-style-type: none"> 調湿換気ユニットと連動運転中には、エアコンが停止中でも、換気ランプ(緑)が点灯して、風が出ます。(換気と空調のダクトを共用しているためです。)
	運転中、急に動きがおかしくなる	お調べください	<ul style="list-style-type: none"> 運転中、本体内部に手を入れて(触れて)いませんか？手を入れると(触れると)、静電気などの影響で誤作動する場合がありますので本体内部には手を入れないでください。 雷や無線などにより誤作動する場合があります。誤作動した場合は、ブレーカーでいったん電源を切り、リモコンで再度運転してください。

運転条件

- 右表の条件以外で運転を続けると、安全装置が働き、運転が停止する場合があります。また、除湿・冷房運転の場合は室内ユニットに露が付き、滴下する場合があります。

	除湿	冷房	暖房
屋外温度	18℃～43℃	21℃～43℃	屋外温度 -10℃～24℃
室内温度	18℃～32℃	21℃～32℃	室内温度 27℃以下
室内湿度	80%以下	室内湿度 80%以下	

運転ランプが点滅するとき


運転ランプが点滅するときは、ブレーカーを切り、約1分後もう一度電源を入れ、運転を行ってください。

- それでも運転ランプが点滅するときは、以下の手順にしたがってエラーコードを確認し、対応を行ってください。


エラーコードを確認する

- 1 運転ランプが点滅していることを確認する。




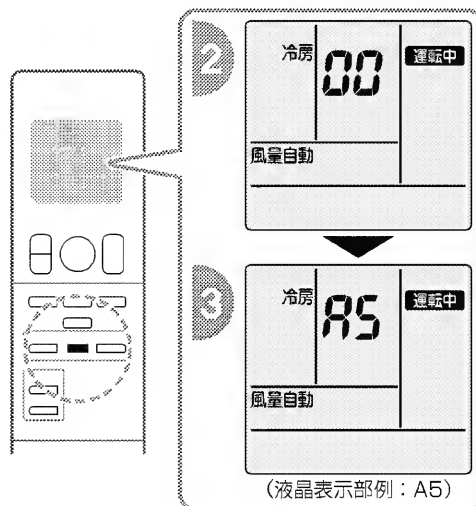
- 2 リモコンをエアコン本体に向けて
取消  を約5秒間押す。

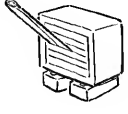

- リモコン表示部に「00」が表示されます。

- 3 リモコンをエアコン本体に向けたまま
取消  を連続で押して「ピー ♪」と
鳴ったときのエラーコードを確認し、
下表の操作と対応を行ってください。

- 該当するエラーコードの左1ケタが一致したとき、「ピー ♪」と鳴ります。

- 取消  を約5秒間押すか、しばらくすると通常表示に戻ります。



エラーコードと確認内容	操作と対応
A5 エアフィルターが汚れていませんか？	運転を停止し、エアフィルターの掃除をしてください。 その後、ブレーカーを切り、もう一度電源を入れて運転してください。
E7 室外ユニットのファンに 棒などの異物が 入っていませんか？ 	ブレーカーを切ってから、異物を取り除き、もう一度、 電源を入れて運転してください。
F3, F6, L3, L4, L5 車などで 室外ユニットの吹出口を ふさいでいませんか？ 	ブレーカーを切ってから、障害物を取り除き、もう一度、 電源を入れて運転してください。
その他のエラーコード、または エラーコードが確認できなかった場合	—